

各委員からの意見に対する考え方

No.	委員	意見	担当課	考え方
1	黒澤委員	町社協モデル事業では、住民主体による地域性を考慮した活動を効果的に推進することを目的に実施され、15町の申請を受理したと報告されている。未申請の町からも申請されるよう丁寧な説明が必要と思われるのでお願いしたい。	長寿包括ケア課 社会福祉協議会	<p>【市】町社協モデル事業を経て、令和4年度からは、住民が主体となって高齢者の交流・見守り・支え合い活動を継続的に行うことを目的とした町社協の取り組みを市全域に広めるため、事業周知や支え合い活動の共有、協働する関係者間の方針決定・共有・意識の統一を行います。そのうえで、市社協の生活支援コーディネーターが中心となり、各自治会に個別で説明を行ってきました。引き続き、丁寧な説明を行いながら、取り組みを推進していきます。</p> <p>【社協】町社協設立モデル事業は令和2年度から令和4年度まで実施し、市内40町からモデルの申請を受理しました。令和4年度には全町に向けて町社協の設置を推進する旨説明し、希望する町には各町に出向き、町の実情に合わせて進められるよう町社協の詳細について説明を実施してきました。令和5年9月現在、106の町で町社協が設立しています。</p>
2	野中委員	買い物支援等で認知症などで免許がないと買い物に行けないなどの場合には、買い物等を支援してくれる団体等があったほうが良いと思う。誰でもが平等に使えるような形で買物を支援してくれる団体が増えるといいと思う。	長寿包括ケア課 社会福祉協議会	<p>【市】高齢者の買い物支援については、自治会等関係者の協力を得ながら、住民が主体となって高齢者の生活を支える「互助」の仕組みが生み出されるよう、活動を支援するとともに、関係機関と連携を図っていきます。</p> <p>【社協】買い物支援については、現在でも移動販売を行う業者が希望する町や個人宅に出向いたり、NPO法人が移動販売を実施するなどしていますが、需要に対して充足できていない状況があります。この課題においては、市内でも商店やスーパーの立地などに大きく影響しているところがあり、地区により異なる課題と認識しています。</p> <p>買い物弱者への支援方法として、宅配、買物代行、移動販売、買物する機会の場の開設、移動手段の提供等様々な方法があるため、複数のサービスを組み合わせるなど地域の実情に合わせて複合的に検討する必要があると考えています。</p>
3	鳥島委員	買い物支援等の関係は、急いでやるべきものと思う。例えば、江木団地の市営住宅では、70歳以上のひとり暮らしが多く、5階建てだがエレベーターがない。民生委員をやっていると、足をくじいたりして買い物に行けないという話を聞いている。	障害福祉課	毎年、点訳奉仕員養成講座を開催し、受講修了者には点訳サークルの活動を紹介するなど、点訳ボランティアとしての活動継続を促しています。（点訳分）
4	高橋委員	ボランティア（車椅子を押す、おつかい、点訳）の養成をお願いしたい。例えば、足が悪くなっても、車椅子で外に出て散歩をしてもらうことで引きこもり防止になる。人材確保が必要である。	障害福祉課	手話奉仕員養成講座修了者には手話サークルの活動の紹介を行うが、修了者のその後の活動については把握していないため、その後の活動状況などについてアンケート調査を行うなど、実態把握について検討していきます。
5	塩崎会長	推進指標としては「手話奉仕員養成講座の受講数」を取り上げているが、実際にどのくらい手伝ってくれているのかという実態が見えると、これが助けになっているということが分かるようになるかもしれない。そのためにも支援を受けた人の声を聞いてもらうと良い。	障害福祉課	ひきつづき「みんなのフェスタ」などの福祉啓発イベント等を通じて障害者との交流や福祉体験の場を提供し、障害特性や必要な支援について広く市民に周知していきます。
6	塩崎会長	知的障害、情緒障害の人には、こういう特色があるのでこういう支援を求めている、ということを市民に知ってもらうことで、ボランティアの養成などの障害者支援を推進していけると考える。	障害福祉課	

No.	委員	意見	担当課	考え方
7	竹内委員	ファミリーサポートセンター提供会員数は300人程度いるが、実際に活動している会員は30人程度とある。いかに今いる会員がアクティブになるようバックアップしていくかが大切で、福祉向上の一番近道なのではないかと思う。 また、今後の取組方針で原因究明のための調査を行いとあるが、結果を見て新しい会員を獲得すると同時並行で、今いる会員をアクティブにしていく取り組みをしていただけたらと思う。	こども施設課	登録している会員のアクティブ化については、提供会員の新規獲得と同様に対策が必要な課題と考えており、会員が活動できていない原因を究明すべく、提供会員向けのアンケートを行ったところです。 現在は、この結果を受け、改善ができるような施策を検討しております。
8	竹内委員	ファミリーサポートセンター提供会員数について、①新規会員獲得と、②既に登録している会員のアクティブ化の2つの視点で考えられると思う。①はターゲット層がリタイア世代であれば、公民館や回覧板など新たな広報施策が考えられる。②は交流会や講習会の実施など、会員が不安に思っていることを解消する施策を検討したらよいと思う。	こども施設課	①については、広報まえばしに年2回募集記事を掲載しています。今後、さらなる提供会員の獲得に向け、公民館などでの広報活動を行うことを検討しております。 ②については、提供会員向けアンケートの中で、ベースアップの希望をはじめとした意見が挙がったため、報酬の増加及び活動時の不便さ、不安といった課題を解消できるような施策を検討しております。
9	鳥島委員	ファミリーサポートセンター提供会員に対する課題は急いでやるべき。どこの学校のサポート会議に出ても、家庭的な問題が出てきているため。	こども施設課	早急に解決すべき課題と位置付け、調査の実施や対策の検討を進めています。
10	塩崎会長	高齢者へのタクシー補助事業は、近くにタクシー会社がないところでは、呼ぶのにもお金がかかるのでなかなか利用できないという課題や、その他さまざまな課題があると思う。	交通政策課	タクシーの待機所から遠い地区の方や郊外部の方は、タクシーの運賃補助制度である「マイタク」を利用しても費用負担が大きいことは認識しているため、長距離移動に対する支援の拡充など、地域格差を解消するための施策について検討を進めています。
11	塩崎会長	公民館の学生の活動が増えてきたと聞いている。若い人たちの団体が自主学習グループを作ったり、ボランティアを作ったりと公民館の地区ごとに活動が広がっている。このような活動が、「社会を明るくする運動」や「のびゆくこどものつどい」に関われるかもしれないし、いろんな障害者への支援にも関わっていくと良いと思う。	生涯学習課	東公民館の夏休みの少年教室では、群馬医療福祉大学の学生がボランティアとして小学生の読書感想文や絵画などの夏休みの宿題のお手伝いをしています。また、のびゆくこどものつどいでは、中学生ボランティアが役割を担いながら、地域の方々と交流を図っています。市立前橋高校の探究学習の中では、地域活性化プロジェクト「めぶく」の中で、地元前橋の活性化について地域の諸課題について問いを立てたり課題解決に向けた提案を行ったりする力を養っています。アクエル前橋に開室した「前橋市高校生学習室」も、市立前橋高校の生徒の提案から生まれたものです。このような様々な体験や取組を通して、若い人たちの地域愛や郷土愛が醸成され、地域をよりよくしていこうとする活動が広がっていくことが期待されます。
12	廣瀬委員	コロナで空白の期間が生じたことで、社明パレードが再開された時にどうなるのかということに心配している。中止になっていたものが必要になった時に、「勝手にやってください。」ではできない。事前の調整や連絡を市や社協などが中継役として関わってもらおうとやりやすくなると思う。	社会福祉課	社明パレードについては、コロナや昨今の異常気象などの影響から開催自体を左右されてきたことに加え、社明パレードの実施目的（更生に対する理解促進、更生保護の活動PR）を実現する具体的な取り組みについて関係団体、社協等と検討調整していきます。その中で、大学生との連携や若者たちへの発信などについても検討していくこととします。
13	野中委員	社明パレードについて、大学生とうまく連携しながらできるようになると良いと思う。そうすると、若者からの発信も期待できるようになると思う。	社会福祉課	
14	竹内委員	事業評価シートにも、推進指標の「計画策定時」「直近値」「策定時との比較」の記載があると、協議しやすく、また、担当者の意識づけにもなると思う。	社会福祉課	各事業レベルの指標等を設定するのではなく、重点的に取り組む選択事業について、「計画策定時」から「直近値」を示しながら、事業の進捗具合を示すものと整理しました。 次期計画策定に当たっては、評価の方法も課題ととらえています。福祉に関わる事業の評価については、定性的な評価に係る比重が小さくないので評価のバラつきが少なくなるよう、また、協議しやすく分かりやすい様式となるよう、項目の整理を検討してまいります。
15	鳥島委員	事業評価シートについて、成果の達成度の%表示を数字で入れるのはどうか。（数字、ランク、ABCなど）	社会福祉課	
16	鳥島委員	推進指標については、完結や定例化した項目、今後改善を計る項目、検討したがボツとする項目などに振り分け、その結果を明記する必要があると思う。	社会福祉課	今回会議の資料から、項目ごとの方向性を明記しました。